

市民に理解が得られる予算組みを

新世紀の会

西野修平

質問 ↓台風被害の文化財と山林復興はどうか進展しているか。アルネ再建と新ごみ処理場に法外な予算が組まれるが、今、津山に必要な事業が多く市民の理解が得られるとは思えない。また、地震対策を含む防災の面からマイナス面しか見られない。

答弁 ↓文化財は地域の財産なので国県の予算も決定され市指定もすっかり対応していく。山林被害は森林組合

を中心に復興事業を早急に取りまとめ着手する。アルネを避難場所にしたのは密集市街地に防災機能の強化を図るため総合的に判断した。ごみ処理場は丘陵地の支持力の高い地盤上に主要施設を配置して地震に対応し、浄水場の問題は最終処分場をクローズド方式にし水を入れないし出さない事で対応する。



人と人とのつながりのために炭焼きの復活を

津山再生クラブ

河本英敏

質問 ↓アルネへの八十四億円の税金投入で、今後一切税金の投入はないと約束せよ。災害に立ち向かっている改良区や水利関係者の努力に報い、山を守り緑、環境を守ることと災害を未然に防ぐことと、取水口の変更による命と健康、暮らしを守るための税投入とアルネへの税投入どちらを優先するのか。災害を受けた山に関心を取り戻すため、また地域の人

と人とのつながりのために炭焼きの復活をさせてはどうか。

答弁 ↓いつまでも私が市長をするわけではないので、ないとは言えない。アルネがあるから生活や安全のための予算がないということはない。生活環境を守り自らの生活を見つめるために炭焼きはおもしろいと考えるが燃料革命のなか、衰退した。



要介護者支援の施策が必要では

新世紀の会

木下健二

質問 ↓市町村合併による財政支援は。旧町村の各種基金は予定通り引き継がれたのか。合併で高齢化率が高くなったが、特養老人ホームの待機者はどのようになっていくのか。高齢者、要介護者支援の有効施策が必要では。市街地再開発事業は失敗ではないのか。県支援金の二十億円の責任は。八十四億円の再建策は大半が必要でないではないか。

答弁 ↓普通交付税の算定特例上乗せ、特別交付税上乗せ、国の補助金、県の特別交付金等約三十億円。各種基金は残高すべてを引き継いでいる。待機者は旧市で四百十二名、新市で百三十名増加。介護予防では自立支援の取り組み強化。アルネは失敗傾向にある。県支援金は要請中。私の責任は再建すること。



鶴山塾の更なる充実が必要

日本共産党津山市議団

美見みち子

質問 ↓誰もが生き生きと暮らせる津山にするため、小・中学校に登校できない子供たちの居場所をどう確保し、充実させていくのか。

答弁 ↓学校では、お互いを認め合い、自己を発揮できるような人間関係作りと心の居場所づくりが大切。そのためにわかる授業や体験的な学習指導の推進、学校内外における教育相談体制の整備と充実が肝要だ。不登

校の子供についても学校以外に行くことができる適応指導教室ポポロや教育相談センター鶴山塾の更なる充実が必要だ。

質問 ↓ポポロつやまの開催日の増加、及び時間延長はできないか。

答弁 ↓新年度から、現行の週二日を三日に十時から十二時の時間を一・二時間延長する方向で考えたい。

